

日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

日本電気株式会社
武智 洋

■ ISOG-Jについて

日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (Information Security Operation providers Group Japan 略称: ISOG-J) は、セキュリティオペレーション技術向上、オペレータ人材育成、および関係する組織・団体間の連携を推進することによって、セキュリティオペレーションサービスの普及とサービスレベルの向上を促し、安全で安心して利用できるIT環境実現に寄与することを目的として2008年に設立されました。

2018年2月時点でセキュリティオペレーションに関連する企業42社が参画し、複数のワーキンググループを構成しながら、特色のある活動を行っています。

■ セキュリティオペレーションガイドラインWG (リーダー: 上野 宣 株式会社トライコーダ)

主に脆弱性診断のガイドライン作りや普及啓発のためのWGで、OWASP Japanとの共同WGである「脆弱性診断士スキルマッププロジェクト」としても活動しています。

脆弱性診断士のスキルマップや学びの指針となるシラバス、適切な診断実施のための「Webアプリケーション脆弱性診断ガイドライン」などを作成して公開しています。また、作成したガイドラインの普及のためにハンズオントレーニングも開催しています。

主な成果物:

■ Webアプリケーション脆弱性診断ガイドライン

<http://isog-j.org/output/2017/WebAppPentestGuidelines.html>

■ セキュリティオペレーション技術WG (リーダー: 川口 洋 株式会社ラック)

セキュリティオペレーション技術WG(WG2)は2008年6月のISOG-J発足当時からあるワーキンググループです。セキュリティオペレーションに関する技術全般を広く対象とし、参加組織が持ち回りで開催しています。セキュリティトレンドの紹介、現在進めている研究、SOC施設の見学、人材育成の方法などテーマは多岐にわたります。ISOG-J会員企業であればどなたでも参加できるようになっており、新規加盟企業最初の受け入れ窓口としても機能しています。そしてもちろん毎回のWGの後には懇親会がセットされており、日本のセキュリティオペレーションの未来を肴に熱い議論がいつも繰り広げられています。

■ セキュリティオペレーション認知向上・普及啓発WG (リーダー: 阿部 慎司 NTTセキュリティ・ジャパン株式会社)

本ワーキンググループはその名のとおり、セキュリティオペレーションの認知向上、普及啓発を目的に、他のWGと連携しながら、ISOG-Jから生み出された様々な成果を発信する役目を担っています。他のセキュリティ関連団体との連携や、イベントの企画などを通じて、日本におけるセキュリティオペレーションレベルの向上に寄与できるよう活動しています。

最近では「セキュリティ対応組織成熟度調査タスクフォース」を立ち上げ、国内におけるSOC/CSIRTの実態を明

らかにする活動も展開予定ですので、JNSA会員の皆様におかれましても、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



■ セキュリティオペレーション連携WG（リーダー：武井 滋紀 NTTテクノクロス株式会社）

セキュリティオペレーション連携WG(通称WG6)は2016年から活動をしています。

旬な課題について議論を行い、その成果で出せるものは公開してセキュリティ業界への貢献になればと活動をしています。これまでに「セキュリティ対応組織(SOC/CSIRT)の教科書」や「セキュリティ対応組織(SOC/CSIRT)強化に向けたサイバーセキュリティ情報共有の「5W1H」」をリリースしたり、InternetWeekや各所の勉強会などで発表を行ったりしています。

参加メンバーの熱量に支えられ、議論の内容はすべて公開できるものばかりではありません。これからも議論を続けようと、今日も夜の街へ繰り出すのでした。



JNSA ワーキンググループ紹介

主な成果物：

- セキュリティ対応組織の教科書 v2.0
http://isog-j.org/output/2017/Textbook_soc-csirt_v2.html
- セキュリティ対応組織 (SOC,CSIRT)強化に向けたサイバーセキュリティ情報共有の「5W1H」
http://isog-j.org/output/2017/5W1H-Cyber_Threat_Information_Sharing_v1.html

■ グローバル動静共有プロジェクト (リーダー：佳山 こうせつ 富士通株式会社)

セキュリティオペレーションに求められるニーズやモチベーションは日々ダイナミックに変遷しています。技術だけではカバーしきれない“動静”、特にグローバルでの変化にスコープを当て議論してきました。

1年という短期的なプロジェクトでしたが、各社のSOCが技術と動静をただしく紐付け時代の先手を打つため、グローバルな動静情報を持ち寄り断片的な情報から関連性を見出し共有する取り組みとしました。

このようなボランティアベースの活動による情報の共有が、前向きなセキュリティの活性化につながってくれば嬉しいです。

主な成果物：

- セキュリティ動静マップ2017年まとめ
http://isog-j.org/output/2018/2017_global_movement_mapping.html



■ 今後の活動について

ISOG-Jでは今後も各ワーキンググループにおける活動を通じて、より多くみなさまにお役立ていただけるような成果物の作成、講演会などのイベントを実施していく予定です。志を同じくして積極的に発信していける仲間を増やすべく、メンバー募集も行ってまいりますので、世の中に伝えたいことがある!という熱い思いを持ったセキュリティオペレーション関連事業者の方はぜひ参加をご検討いただければ幸いです。

■ 参加企業 (2018年3月26日現在)

株式会社インターネットイニシアティブ	株式会社トライコーダ
SCSK 株式会社	日商エレクトロニクス株式会社
NRI セキュアテクノロジーズ株式会社	日本アイ・ビー・エム株式会社
NEC ソリューションイノベータ株式会社	株式会社日本総合研究所
NEC ネクサソリューションズ株式会社	日本電気株式会社
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	日本電信電話株式会社
NTT セキュリティ・ジャパン株式会社	日本ユニシス株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	ネットワンシステムズ株式会社
エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社	パーソルテクノロジースタッフ株式会社
NTT テクノクロス株式会社	株式会社PFU
株式会社 Kaspersky Labs Japan	PwC サイバーサービス合同会社
グローバルセキュリティエキスパート株式会社 (GSX)	株式会社日立システムズ
興安計装株式会社	富士通株式会社
株式会社神戸デジタル・ラボ	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
サイボウズ株式会社	丸紅 OKI ネットソリューションズ株式会社
株式会社セキュアソフト	三井物産セキュアディレクション株式会社
SecureWorks Japan 株式会社	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
セコムトラストシステムズ株式会社	株式会社ユービーセキュア
ソフトバンク株式会社	ユニアデックス株式会社
ソフトバンク・テクノロジー株式会社	株式会社ラック
株式会社ディアイティ	株式会社リクルートテクノロジーズ